

(3) エサの盛り方（山の作り方）

エサを押す時にどの位置にエサを盛るか山を作るか考えてエサ押しをします。乳牛の立ち姿から自然に首をおろした口元にエサを盛り、食べさせることが重要です。飼槽壁から少し隙間を空けてエサ押しをしましょう。



写真5 位置が丁度良い。体を真っ直ぐにして食べている



写真6 エサの山の位置が近すぎて体を曲げて食べている

(4) エサの異物除去

エサの中にはビニールの破片や石、土、カビなどが混入している場合があります。

石、土、カビを食べてしまうと、乳房炎や蹄病などの原因になります。エサ押しの作業をしながらエサの中を観察し、見つけた場合は速やかに取り除くことが重要です。



写真7 異物混入とタイヤの跡

2 除糞

除糞は乳牛の牛床を清潔にし、牛体を汚さず乳房炎予防のために行う作業です。除糞の際に、乳牛の糞（栄養状態）や繁殖、歩行状況も観察することができます。

(1) 牛体の衛生を高める

除糞は牛床を綺麗にし、牛体の汚れを抑えることができます。牛体が清潔で乾いていることは牛のストレスを少なくします。

乳牛は起き上がったときに糞をする性質があります。たとえばエサ押しをした時に、一斉に立ち上がって糞をするので、そのタイミングで除糞が必要です。



写真8 牛体の汚れが目立つ

